

基本理念

文化芸術の地産地育による未来への活力の創造(案)

・難しい	・キャッチコピーがない	・わかりやすく
・先行投資の重要性「地育」	・「未来」の対象は、若者？次世代？今、利用する人？	

基本方針

方針 (案)	強み 今あるもの	弱み 足りないもの	具体的なアイデア、施策 関連する考え など
① 文化芸術を とおしてに ぎわいと癒 しを創出す る		・リスクをとる人がいない ・そもそも不足している？ ・一見あるように見える中途 半端さ	・花火やたらあがる ・民間・行政の壁を超える ・交流プログラムがある ・何度も行きたいと思う ・大人と子どもが交流している状態 ・銭湯の借景 ・市民が企画に加わる ・恒例にする ・アートセラピー(癒し) ・祭り
② 誰もが気軽 に文化芸術 に親しみ活 動すること ができる	・子どもがタブレット 持ってる	・多様性の理解が不足	・参加したいと思える ・選べる ・多言語、もしくは言葉のいらぬもの ・チケットの買いやすさ ・赤ちゃんから参加できる ・見えない人、聞こえない人へのサポート ・車いすでも入れる
③ あらゆる場 所で文化芸 術を行うこ とができる	・駅舎が芸術的 ・久美浜の町並みが スゴイ	・交通網、どう移動するか ・バリアフリー	・砂浜も海上も使える ・同時開催 ・通信環境 ・オンライン
④ 情報を積極 的に発信し 誰もが情報 を得ること ができる	・回覧板 ・市報 ・全戸配布 ・ケーブルテレビ ・SNS ・発信できる魅力は たくさんある	・発掘できていない？ ・発信できていない？ ・情報発信バラバラ ・情報があってもつかみ切れ ていない ・個人個人や単発の発信をど うまとめるか ・どこを母体として発信する か。それぞれか、一元化か。	・どこから情報を得て暮らしているのか。ネ ット？アナログ？ ・保護者や子どもが興味を持つ広報活動、 作品内容の選定 ・6町で文化が違うのなら互いに勉強しあっ てプロデュースしあう
⑤ 文化芸術を とおして豊 かな心を育 む		・文化会館は高くて利用でき ない ・来てもらうだけでなくアウト リーチの出向く力やマネジ メント力がホールや団体に必 要 ・中高生の部活動指導等は 都市部に比べ指導者少ない	・学校として文化会館を利用する ・鑑賞も体験も音楽も工芸も境なくいろ んなものに触れさせる ・マッチングするコーディネーターが必要 ・教育に対する知見や経験のあるアーティ ストをコーディネーターに選定すれば教員の 負担が抑えられる ・指導者の育成又は継続的に招へい
⑥ 文化財や地 域の文化的 資源を活か す	・自然がいっぱい ・こまねことちりめん でまちづくり	・祭りを継承する人がいない	・景観の保護(鳴き砂) →文化×観光 ・廃校や施設を文化別に利用する ・内にいても知らないこと ⇔外にいる人の興味を誘う まずは自分たちが知る ・現代に押しつぶれされがちだが繰り返す (民謡→よさこい→民謡) ・再利用、リノベーション